

コロナ感染症から子どもと教育を守ろう！(18)

新型コロナ感染症に関する通知などの情報や、府高教のとりくみ、現場の声をお伝えします

今すぐ面的・社会的 PCR 検査実施を！

府立高校では、連日、感染による休校が発生、休校明けにまた感染者が出て休校になるなどの状況が繰り返されています。感染防止に向けて、今一番重要なのは、大規模PCR検査の実施で、無症状の感染者を早期に発見・保護・追跡することです。府高教は、昨年来、感染者が出た学校の生徒・教職員へのPCR検査を求めています、不当にも府は応じていません。大阪府は緊急事態下においても「40人一斉授業」の方針を変えません。

コロナ禍のもとでも、学校は生徒の安全・安心な居場所となり、生徒一人ひとりの人間としての成長・発達を保障する教育活動を実施することが求められています。しかし、そのためには、科学的な感染防止策の徹底と、教職員定数増、少人数学級をはじめとした教育条件の抜本的改善が不可欠です。

教職員、保育士らに定期PCR検査 大阪・寝屋川 (産経 21/5/6)

寝屋川市は、子供への新型コロナウイルス感染を防止するため、市立小中学校の教職員、保育所・幼稚園などの業務従事者らを対象に、2週間に1度のPCR検査を実施することを決めた。期間は6月から9月末までを想定しており、学童保育所である「留守家庭児童会」や放課後デイサービスの関係者も含め約200施設の最大約4250人が対象となる。同市によると府内初の取り組みという。

学校や園などに検体の唾液を入れる容器を配送し、保健所が回収して検査機関に回す。対象者に費用の負担はなく、経費約3億1700万円の補正予算が市議会で可決された。

同市では学校や園で感染者が発生した場合、クラス全員のPCR検査と2週間の学級閉鎖を実施するなど独自の対策を定めているが、「教員らが感染した場合は学年閉鎖などで子供や家庭に大きな影響が出るため、無症状のうちに早期発見を図りたい」としている。

府内では四條畷市でも学校関係者へのPCR検査費用補助が市議会で議決されるなど、面的・社会的なPCR検査をすすめる動きが進んでいます。臨時休校と再開を繰り返し、子どもや教職員は疲弊。いのちと心身の健康不安も続いています。府高教は引き続き現場のみなさんとともに力を合わせていきます。



中河内支部Aさん

先日、市内の臨時会場でモニタリングPCR検査を受けてきました。簡易的な検査ですが、すぐ結果も出て1回3,000円ほどでした。大阪府は、市立高校の移管経費に3億円、「見回り隊」アルバイトに2億円を出せるなら、一刻も早く、面的PCR検査を行って生徒・教職員、家族を守ってほしい。



府教委への第9回緊急申し入れ (教育長宛て 4/26)

- ①大規模PCR検査実施
- ②20人学級
- ③コロナ禍での職免制度などの維持・拡充を求めています。

現場の状況、声を届けてください

osakafuko@kind.ocn.ne.jp

「仕方がない」をみんなで変える！あなたも府高教へ！

